

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	うんどう☆ことばの教室			公表日	2025年 3月 31日
	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○壁の色を変えて分かりやすくなっている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○配置数の職員の数より、支援に関わる職員は多い（共有スペースである児発の職員が参加）。 ○十分な職員を配置して支援に当たっている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○床の色や壁の色を変えて「○○の時間はピンクのお部屋」と区別している。 ○活動部屋、製作部屋と色ごとに分かれており、一目見て子どもが分かりやすい。	○施設入り口の階段については以前スロープの設置を検討したが介助スペースを確保できないために断念した。スロープの代替案を検討する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○こまめに換気したり、玩具やテーブルなど、毎日消毒するなどして生活な環境を保っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○必用に応じて個別対応ができる態勢になっている。 ○個別で使用できるスペースが確保されており、クールダウンなどに使っている。 ○子供の年齢が高くなり、中学生、高校生の利用が増加した時には、もう少し整備が必要と思われる。	○中高生と小学生未満の子ども達が安心・安全に活動できる環境を検討して行く。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○毎日のミーティングの中で子どもの様子、課題、今後の取り組みについて職員全員で話し合っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○意見を共有している。 ○イベントの後に懇親会等を開いて意見を聞く場を設けている。	○頂いた意見を支援内容、環境整備等に活かしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○毎日、朝と夕方にミーティングを行い、意見を出し合うようにしている。 ○小さな意見にも耳を傾けてくれ、改善につなげている。	○ミーティングの他に業務改善提案書を新たに作成し、職員からの業務改善案などを広く収集し、可能な限り対応できるようにしていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○今年度中に第三者委員会による外部評価を実施できるように進める。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○毎日のミーティングにて必要に応じて勉強会を行っている。 ○年間計画に沿って研修をするようにしている。 ○様々な専門職の立場からの知識を学ぶ機会がある。	○外部機関により開催される研修への参加、外部講師を招いての社内研修の開催を図っていく。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○個々に合ったものになるようにしている。 ○事前に成長療育支援システム（HUG）上でプログラムを公表し、活動記録等で内容を伝えている。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○必ずミーティングにて職員全員で話し合い共通理解できる量にしている。 ○職員全員で児童の現状、課題を話し合っている。 ○これまでの変化および今後の目標を職員全体で話が出来る。		

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○ミーティングで共通理解できるようにしている。	○紙に印刷した支援計画を読み込むだけでなく、成長療育支援システム（HUG）からも支援計画他をパソコンを使って確認することも行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○週や月でプログラムを変えている。 ○制作ではミーティングの時にみんなの意見を聞くことが出来て、とても良いと感じる。	○週や月ごとにプログラム（運動や制作）をチームで考え、実施している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○毎日プログラムを変えて対応している。 ○ねらいに沿って工程を変えている。 ○運動も制作も毎日違う内容の課題で行って	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○集団活動を中心に子供の様子に合わせて個別活動を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○活動内容やポイントを確認している。 ○朝のミーティングで運動や制作の狙いを共有して、全体で連携を図っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○朝だけでなく夕方にもミーティングにて振り返りを行い、次に生かせるようにしている。 ○話しやすい雰囲気作りがされている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○専用ソフトを導入し、仕事の効率化を図っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○モニタリングでニーズを把握して計画の見直しをしている。 ○学校でのモニタリングも行き、それぞれの場面での違いなども考慮している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。		○支援プログラムで公表している。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○話し合いをして決めるようにしている。		
関係機関	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○対面での担当者会議等のを開けるように働きかけていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○学校に訪問している。	○連携する体制は整えているので、今後は、関係機関との連携を図っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○LINEなどを使って連絡調整をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○これまでのやり方を見直し、改善点があれば速やかに対処を行い、情報共有と相互理解を深めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○今のところ卒業して事業所につながった子供はいない。	○必要な情報はいきゅ出来るようにしている。

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点
や保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○他のクラブや児童館など地域の活動には参加できていない。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○今後の課題。	○自立支援協議会に参加し情報の収集に努めています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○送迎時や個々の面談等で子どもの発達状況、日々の様子を伝えているが、共通理解が難しい場合もある。 ○成長療育支援システム (HUG) にて活動内容等を毎回伝え、必要に応じて面談等を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム (ペアレント・トレーニング等) や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○定期的にイベントを行い、その中で行っている。 ○児童だけでなく家庭への支援の大切さを理解し対応している。今後、保護者向けの研修も増えていくと思われる。	○家族支援プログラム (公表済み) の実施を行い、家族の対応力向上を図る。また、開催しているイベントにおいて交流の機会を設けているが、さらに、外部講師による勉強会なども企画していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○その都度、対応している。 ○定期的な面談だけでなくLINEを利用して気軽に相談できるようになっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○定期的なイベントにて行っている。 ○イベントの後に懇親会を設けて交流の機会を用意し、意見を共有している。 ○保護者会はまだないが、イベント等を企画し、兄弟姉妹の交流も設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○成長療育支援システム (HUG) に活動内容を載せている。	○様々なツールを使って保護者の悩み事を聞き取り、素早く対応するようにしている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○鍵付き書庫を使用している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○利用者のイベントは行っているが、地域住民との交流は出来ていない。	○どのような地域交流が可能かを検討して行く。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○避難訓練を行っている。	○マニュアルが多いので、なかなか職員に周知することが困難である。簡易版のマニュアル作成なども含め、確実にマニュアルで定めた事項が実施できるように図る。
	47	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○災害を想定した避難訓練を実施している。	○BCPや安全計画に沿った研修、訓練を実施していく。

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○アセスメントで確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○医師の指示書に基づいて対応している。スタッフ全員がアレルギーに関しての知識等を得るように図っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○ヒヤリハットを全職員で共有し、全体で改善点などを話し合っている。 ○インシデント報告書を作成し必ずスタッフ間で話し合いの場を設けている。 ○問題が発生した際には職員全員で話し合い、今後の支援につなげている。	○ヒヤリハットの事例が少ないので、もう一度、ヒヤリハットの目的、重要性を周知していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○研修会を実施している。 ○気になる様子があった場合、身体チェックなどを行うなどして気を付けている。	○マニュアルに沿って対応している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○マニュアルに沿って対応している。